

2-3 宿泊施設調査

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成 18 年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

②調査対象・方法

平成 17 年度調査により把握した市内宿泊施設 186 施設から廃止した 2 施設を除き、平成 18 年度新規開業した 1 施設を加えた 185 施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館などを除いたものを調査対象とした。

調査にあたっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

③調査項目（巻末調査票参照）

- 施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- 平成 18 年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- 国別、宿泊客数
- 修学旅行団体の受入内容

④調査時期及び回答状況

- 調査時期：平成 19 年 5 月～6 月
- 回答状況：回収数 185 施設
有効回答数 185 施設
(全問回答 34 施設、準全問回答 75 施設、部分回答 76 施設)
廃休業数 2 施設
新規開業数 1 施設

(2) 宿泊施設の現状

①回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした185(平成18年度新規開業した1施設を含む)施設を有効回答数とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは34施設(対有効回答数比18.4%)、準全問回答(月別宿泊者数の回答有り)が得られたのは75施設(対有効回答数比40.5%)、部分回答が得られたのは76施設(対有効回答数比41.1%)であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の過半数を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、室数(規模)をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：100室以上、50室以上100室未満、50室未満の3区分

表 2-3-1 回答状況(タイプ、規模別)

回答状況 施設規模		有効回答数				廃休業等 (施設)	新規開業 (施設)	対象施設数 (施設)
		計 (施設)	全問回答 (施設)	準全問回答 (施設)	部分回答 (施設)			
登録ホテル		20	10	10	0	0	(0)	20
ホテル (登録 ホテル を除く)	100室以上	56	4	35	17	0	(0)	56
	50室以上100室未満	30	6	14	10	0	(0)	30
	50室未満	19	6	2	11	0	(0)	19
	計	105	16	51	38	0	(0)	105
旅館		60	8	14	38	0	(1)	61
全 体		185	34	75	76	0	(1)	185
下段：(%)		100.0	18.4	40.5	41.1	0.0	(0.5)	100.0

注：新規開業は内数値のため、() となっている。

②施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが 20 施設、登録ホテルを除くホテルは 105 施設、旅館は 60 施設となっている。また、室数の合計は 20,224 室、収容人数の合計は 27,977 人で、昨年度調査時点より合計施設数では 1 施設、部屋数では 165 室、収容人数では 142 人の減少となった。

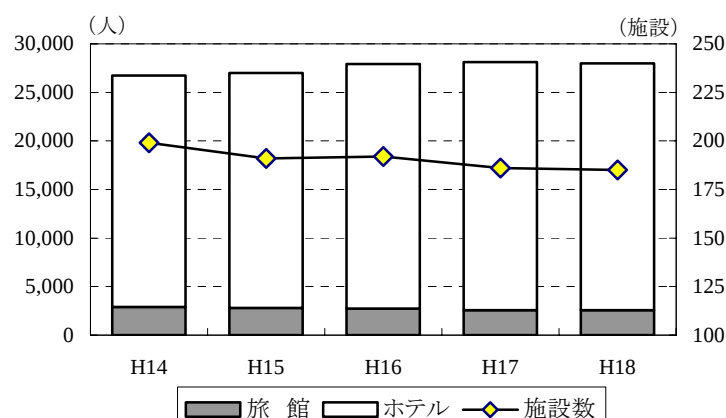
表 2-3-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模		回答数 (施設)	和 室		洋 室		合 計	
			室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル		20	27	88	5,947	8,875	5,974	8,963
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	56	18	71	10,459	12,604	10,477	12,675
	50 室以上 100 室未満	30	32	115	2,250	2,845	2,282	2,960
	50 室未満	19	48	147	498	664	546	811
計		105	98	333	13,207	16,113	13,305	16,446
旅 館		60	816	2,380	129	188	945	2,568
全 体		185	941	2,801	19,283	25,176	20,224	27,977

表 2-3-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

施設区分	平成 14 年度		平成 15 年度		平成 16 年度		平成 17 年度		平成 18 年度	
	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
登録ホテル	5,262	7,464	6,034	9,085	6,032	9,082	6,028	9,044	5,974	8,963
ホ テ ル	12,475	16,369	12,103	15,113	13,021	16,085	13,410	16,515	13,305	16,446
旅 館	1,112	2,917	1,050	2,806	1,021	2,750	951	2,560	945	2,568
全 体	18,849	26,750	19,187	27,004	20,074	27,917	20,389	28,119	20,224	27,977
施 設 数	199		191		192		186		185	

図 2-3-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移



(3) 宿泊客数

①年間宿泊者数

ア：宿泊者数

平成 18 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 629 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 204 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 394 万人泊、旅館が約 30 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 475 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 68 万人泊、実人数は約 29 万人である。実人数を参照すると宿泊者の 6.0%が外国人で構成されており、一人あたりの宿泊日数は約 2.4 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、ホテル（登録ホテルを除く）が宿泊者一人あたりの宿泊数 5.5 泊と最も多く、次いで、旅館が 4.7 泊、登録ホテルが 1.8 泊となっている。

表 2-3-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数	全施設の 年間総実人数	うち全施設の 年間外国人 総実人数
		(人泊)	(人泊)	(人)	(人)
登録ホテル		2,040,452	444,819	1,448,721	244,834
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	3,145,231	210,730	2,519,330	32,751
	50 室以上 100 室未満	667,868	8,014	550,323	5,503
	50 室未満	131,719	4,083	100,238	2,005
	計	3,944,818	222,827	3,169,891	40,259
旅館		303,677	7,592	134,225	1,611
全 体		6,288,947	675,238	4,752,837	286,704

イ：宿泊者数の推移

宿泊者数の過去5年間の推移をみると、年間総実人数はこの5年間で最多の値に、年間総延べ宿泊者数は平成17年度をピークとしているもののそれ以前の年度より増加している。

年間定員稼働率についても、平成17年度をピークとしているもののそれ以前の年度より上昇している。

外国人宿泊者数についても、総実人数は平成16年度に次ぐ値に、総延べ宿泊者数はこの5年間で最多の値となっている。

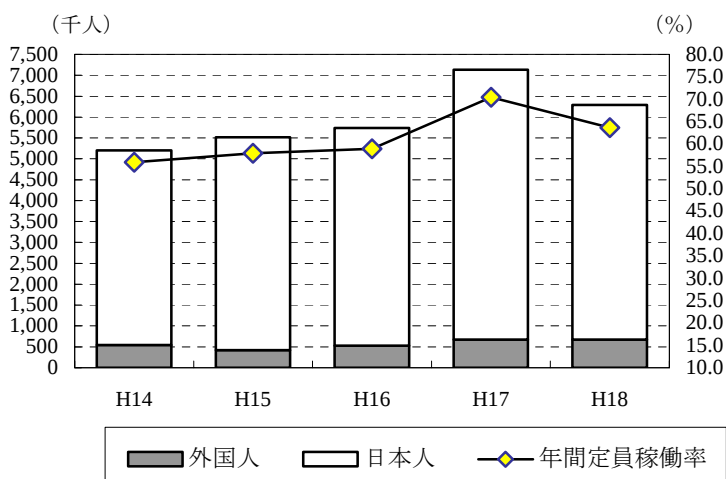
表 2-3-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

年 度		平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
区 分						
年間総実人数（人）		3,878,912	4,190,469	4,651,625	4,472,967	4,752,837
	うち外国人	271,866	244,861	333,857	272,539	286,704
年間総延べ宿泊者数（人泊）		5,200,484	5,514,738	5,738,330	7,135,833	6,288,947
	うち外国人	546,826	420,207	528,769	671,905	675,238
年間定員稼働率（％）		55.9	57.9	58.9	70.4	63.6

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数（表 2-3-6 参照）

図 2-3-2 市内延べ宿泊者数の推移



推計方法

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、その施設の平成 18 年度の営業日数（通年営業施設は 365 日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

a. 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答あり施設を対象として 63.6% の値を得た。区分別にみると、ホテル及び登録ホテルでは 6～7 割であるが、旅館では 32.4% とホテルより低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-3-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	① 年間延べ 宿泊者数 (人泊)	② 回答あり施設 の 1 日収容可 能人数 (人)	③ 回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	④ 年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		20	2,040,452	8,963	3,266,014	62.5
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	40	2,384,392	9,654	3,457,308	69.0
	50 室以上 100 室未満	20	459,216	2,035	742,775	61.8
	50 室未満	8	57,665	339	123,735	46.6
	計	68	2,901,273	12,028	4,323,818	67.1
旅館		23	118,482	1,002	365,730	32.4
全 体		111	5,060,207	21,993	7,955,562	63.6

注：③＝②×365 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝①÷③

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（1,228,740 人泊）を算出した。

表 2-3-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答なし施設 の1日収容 可能人数 (人)	② 回答なし施設 の年間収容 可能人数 (人)	③ 回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	④ 回答なし施設 の年間延べ 宿泊者数の 推計値 (人泊)
登録ホテル		0	—	—	62.5	—
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	16	3,021	1,102,665	69.0	760,839
	50 室以上 100 室未満	10	925	337,625	61.8	208,652
	50 室未満	11	472	158,915	46.6	74,054
	計	37	4,418	1,599,205		1,043,545
旅館		37	1,566	571,590	32.4	185,195
全 体		74	5,984	2,170,795		1,228,740

注：②＝①×365 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝②×③

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた（6,288,947 人泊）。

表 2-3-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		①回答あり施設		②回答なし施設		③全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間総延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		20	2,040,452	0	—	20	2,040,452
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	40	2,384,392	16	760,839	56	3,145,231
	50 室以上 100 室未満	20	459,216	10	208,652	30	667,868
	50 室未満	8	57,665	11	74,054	19	131,719
	計	68	2,901,273	37	1,043,545	105	3,944,818
旅館		23	118,482	37	185,195	60	303,677
全 体		111	5,060,207	74	1,228,740	185	6,288,947

注：③＝①＋②

b. 全施設の年間総実人数（推計値）

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-3-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数	①	②	③	④	⑤
		(施設)	回答あり 施設の年間 実人数 (人)	回答あり 施設の年間 延べ宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 実人数比率 (%)	全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	全施設の年間 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		10	730,251	1,028,597	71.0	2,040,452	1,448,721
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	4	147,514	184,233	80.1	3,145,231	2,519,330
	50 室以上 100 室未満	6	96,178	116,656	82.4	667,868	550,323
	50 室未満	6	36,228	47,598	76.1	131,719	100,238
	計	16	279,920	348,487		3,944,818	3,169,891
旅 館		8	22,192	50,254	44.2	303,677	134,225
全 体		34	1,032,363	1,427,338		6,288,947	4,752,837

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

c. 全施設の年間外国人の宿泊者数（推計値）

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-3-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		回答数	① 回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (施設) (人泊)	② 回答あり 施設の 年間延べ 宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 外国人延べ 宿泊者数 比率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)
登録ホテル		19	418,083	1,918,252	21.8	2,040,452	444,819
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	24	90,782	1,355,742	6.7	3,145,231	210,730
	50 室以上 100 室未満	9	2,305	192,340	1.2	667,868	8,014
	50 室未満	6	1,328	42,161	3.1	131,719	4,083
	計	39	94,415	1,590,243		3,944,818	222,827
旅 館		17	2,561	101,083	2.5	303,677	7,592
全 体		75	515,059	3,609,578		6,288,947	675,238

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の実人数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設をもとに、実人数に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比率とし、その数値を前出 b で求めた全施設の年間総実人数の推計値（表 2-3-9）に乗じて算出した。

表 2-3-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		回答数	① 回答あり 施設の年間 外国人 実人数 (施設) (人)	② 回答あり 施設の年間 実人数 (人)	③ 回答あり 施設の 外国人 実人数比率 (%)	④ 全施設の 年間 総実人数 推計値 (人)	⑤ 全施設の 年間外国人 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		9	112,431	667,136	16.9	1,448,721	244,834
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	3	1,474	112,958	1.3	2,519,330	32,751
	50 室以上 100 室未満	6	996	96,178	1.0	550,323	5,503
	50 室未満	5	621	30,334	2.0	100,238	2,005
	計	14	3,091	239,470		3,169,891	40,259
旅 館		6	250	21,149	1.2	134,225	1,611
全 体		29	115,772	927,755		4,752,837	286,704

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

②国別外国人宿泊数

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 76 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 66 施設であり、その割合は 86.8%であった。なお、外国人の宿泊が無かったのは、旅館が 8 施設、ホテル（登録ホテルを除く）が 2 施設であった。

国別の外国人宿泊者数をみると、米国が全体の 36.8%（99,177 人）と最も多く、次いで台湾が 23.7%（63,830 人）となっている。以下、中国 15.0%（40,347 人）、韓国 12.8%（34,648 人）、タイ 5.4%（14,469 人）と続いている。

施設分類別にみると、登録ホテルでは米国が、ホテル（登録ホテルを除く）では台湾が最も多くなっている。

なお、ここで示している外国人宿泊者数は、各宿泊施設の上位 3 カ国を表記しており、その回答が得られた施設の総和である。

表 2-3-12 国別、外国人宿泊者数

		回答数 (施設)	米国	台湾	中国	香港	韓国	タイ	ドイツ	カナダ	イギリス	オーストラリア	フランス	その他	合計
登録ホテル		19	97,551	23,441	27,381	-	30,435	10,519	5,400	5,088	4,298	1,515	-	100	205,728
ホテル (登録ホテルを除く)	100室以上	25	1,424	40,214	12,066	98	3,199	3,950	-	-	-	-	300	70	61,321
	50室以上100室未満	9	83	94	433	-	598	-	-	-	-	-	-	6	1,214
	50室未満	6	73	6	304	-	163	-	-	-	-	-	-	38	584
	計	40	1,580	40,314	12,803	98	3,960	3,950	-	-	-	-	300	114	63,119
旅館		7	46	75	163	-	253	-	101	-	-	75	82	17	812
全 体 (上段：人数、下段：割合)		66	99,177	63,830	40,347	98	34,648	14,469	5,501	5,088	4,298	1,590	382	231	269,659
			36.8	23.7	15.0	0.0	12.8	5.4	2.0	1.9	1.6	0.6	0.1	0.1	100.0

③修学旅行団体の受入状況

ア：修学旅行学校数及び宿泊者数

今回の調査において、平成 18 年度に修学旅行を受け入れた宿泊施設は 10 施設（対有効回答 185 施設比 5.4%）で、昨年度より 2 施設減少している。学校数は 73 校、宿泊者数は 5,969 人であり、「愛・地球博」が開催された昨年度（135 校、11,856 人）に比べ、学校数は 62 校減少し、宿泊者数は 5,887 人減少している。

表 2-3-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数 (施設)	① 学校数 (校)	② 宿泊者数 (人)	③ 1 校あたり修学 旅行宿泊者数 (人)
登録ホテル		5	22	1,352	61
ホテル (登録ホテルを除く)	100 室以上	1	14	2,935	210
	50 室以上 100 室未満	0	0	0	0
	50 室未満	0	0	0	0
	計	1	14	2,935	210
旅 館		4	37	1,682	45
全 体		10	73	5,969	82

注：③＝②÷①

表 2-3-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

年度 区分	14 年度		15 年度		16 年度		17 年度		18 年度	
	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数
小学校	31	1,802	27	1,294	21	1,096	41	2,072	26	1,464
中学校	6	689	5	353	7	595	36	3,733	6	371
高 校	6	630	11	639	4	303	31	2,886	16	1,028
その他	11	1,227	15	1,936	16	2,874	27	3,165	25	3,106
全 体	54	4,348	58	4,222	48	4,868	135	11,856	73	5,969

イ：地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

合計では 73 校中 25 校（34.2％）が近畿地域からの修学旅行団体であり、次いで東海・北陸地域（21 校、28.8％）、関東・甲信越地域（19 校、26.0％）の順となった。昨年度と比較すると、関東・甲信越地域が 16 校、東海・北陸地域が 15 校、北海道・東北地域が 13 校、九州・沖縄地域が 11 校、中国・四国地域が 4 校、近畿地域が 3 校それぞれ減少している。

学校分類別では、小学校（26 校、35.6％）とその他（25 校、34.2％）が多く、次いで高校（16 校、21.9％）となっている。

表 2-3-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分	回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル		北海道・東北	0				
		関東・甲信越	8	1	1	2	4
		東海・北陸	8		3	4	1
		近畿	4	3			1
		中国・四国	1				1
		九州・沖縄	1			1	
ホテル(登録ホテルを含まず)		北海道・東北	3		1	1	1
		関東・甲信越	5			1	4
		東海・北陸	0				
		近畿	4				4
		中国・四国	0				
		九州・沖縄	2			2	
旅館		北海道・東北	0				
		関東・甲信越	6			2	4
		東海・北陸	13	6		3	4
		近畿	17	16	1		
		中国・四国	1				1
		九州・沖縄	0				
全体		北海道・東北	3	0	1	1	1
		関東・甲信越	19	1	1	5	12
		東海・北陸	21	6	3	7	5
		近畿	25	19	1	0	5
		中国・四国	2	0	0	0	2
		九州・沖縄	3	0	0	3	0
		計	73	26	6	16	25

表 2-3-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道					1	63	1	27	2	90
青森県										
秋田県										
岩手県										
山形県										
宮城県										
福島県			1	47					1	47
東京都	1	10	1	100	3	93	5	1,281	10	1,484
神奈川県					1	83	3	64	4	147
千葉県							3	291	3	291
埼玉県					1	106			1	106
群馬県										
栃木県										
茨城県										
新潟県										
長野県							1	15	1	15
山梨県										
愛知県										
岐阜県	1	33	3	175	3	80	2	19	9	307
三重県					1	19			1	19
静岡県	4	115					1	8	5	123
福井県	1	111			1	85	1	15	3	211
石川県							1	42	1	42
富山県					2	76			2	76
滋賀県										
京都府	17	1,049	1	49					18	1,098
大阪府							2	599	2	599
奈良県	1	112							1	112
和歌山県										
兵庫県	1	34					3	690	4	724
鳥取県										
島根県										
岡山県							1	8	1	8
広島県										
山口県							1	47	1	47
香川県										
徳島県										
愛媛県										
高知県										
福岡県					1	91			1	91
大分県										
宮崎県					1	122			1	122
熊本県					1	210			1	210
佐賀県										
長崎県										
鹿児島県										
沖縄県										
合 計	26	1,464	6	371	16	1,028	25	3,106	73	5,969